



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局	配布日時	平成30年7月6日 14時00分
資料配布		

件名	近畿で水質が最も良好な河川 熊野川 10年間で水質が最も改善した地点 利倉（猪名川） ～平成29年近畿管内一級河川の水質現況の公表～
----	--

概要	<p>●近畿地方整備局では、一級河川において水質調査を実施しています。この度、平成29年の近畿管内一級河川10水系17河川における水質状況をとりまとめましたのでお知らせいたします。</p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質が良好な河川(P5参照) 和歌山県 熊野川 熊野大橋(BOD 0.5mg/L)など 兵庫県 揖保川 曲里(BOD 0.6mg/L)など 福井県 北川 上中橋(BOD 0.6mg/L)など ・10年間で水質が改善した地点(P6参照) 猪名川 利倉(水質改善幅 5.8mg/L) 山科川 中野橋(水質改善幅 5.3mg/L) 佐保川 郡界橋(水質改善幅 4.2mg/L) ・環境基準の満足状況(P7参照) 調査地点の102/115地点が環境基準を満足している。 <p>●一般の方向けに、川や水に関心も持って頂けるよう、水質改善に向けた取り組みなどを特集・コラム記事として近畿地方整備局 河川部 HPに掲載しています。</p> <p>【特集】猪名川の水ってどうなん?～水環境広報の取り組み～</p> <p>【コラム1】STOP!水質事故-水質事故拡散防止に向けた地域の取り組み-</p> <p>【コラム2】地域の皆様に愛されて25周年!～水のめぐみ館アクア琵琶～</p> <p>内容は下記を参照してください。</p> <p>http://www.kkr.mlit.go.jp/river/kankyousuisitu.html</p>
----	--

取り扱い	
------	--

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、堺市政記者クラブ、在堺記者クラブ、滋賀県政記者クラブ、福知山市政記者クラブ、舞鶴市政記者クラブ、綾部新聞記者クラブ、宇治日刊記者クラブ、宇治日刊地方記者クラブ、宮津市政記者クラブ、兵庫県政記者クラブ、姫路市政記者クラブ、但馬県民局県政記者クラブ、豊岡市政記者クラブ、奈良県政・経済記者クラブ、五條市政記者クラブ、和歌山県政記者クラブ、和歌山県地方新聞記者クラブ、和歌山県政放送記者クラブ、橋本市政記者クラブ、新宮記者クラブ、新宮中央記者会、福井県政記者クラブ、大野市政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、名張市政記者クラブ、伊賀記者会、熊野市記者クラブ
------	--

問合せ先	近畿地方整備局 河川部 河川環境課 課長 建設専門官 なかがわ やすし 中川 靖志 いとう まさし 伊藤 昌資 TEL 06-6942-0608 (直通)
------	--

配布資料

平成 29 年近畿管内一級河川の水質現況の公表について（概要）

近畿地方整備局では、一級河川において水質調査を実施しています。この度、平成 29 年の近畿管内の一級河川 10 水系 17 河川における水質状況を取りまとめましたのでお知らせいたします。

1. 平成 29 年水質調査結果について

<主要河川の地点別年平均水質>（P 5）

○各地点の BOD 年平均値でみると、熊野大橋（熊野川）、熊野川河口（熊野川）が近畿で最も良好な水質（BOD 0.5mg/L）調査結果となった。

<過去からの水質改善状況>（P 6）

○下水道の普及や水質改善の取り組みにより、利倉（猪名川）、中野橋（山科川）、郡界橋（佐保川）、太子橋（大和川）、井筒橋（佐保川）ではこの 10 年で BOD 値が大幅に改善されている。

<生活環境の保全に関する環境基準の満足状況>（P 7）

○平成 29 年は、近畿地方一級河川（湖沼を含む）で環境基準のうち主要な指標である BOD（または COD）の基準を満足している地点の割合は、89%の 102 地点となっている。（環境基準の類型が指定されている 115 調査地点での調査結果）

- 河川類型指定 103 地点中、環境基準を満足している地点は 101 地点
- 湖沼類型指定 12 地点中、環境基準を満足している地点は 1 地点

2. 平成 29 年感覚的な水質指標による調査結果について

<感覚的な水質指標に基づく調査結果>（P 13）

○「感覚的な水質指標」に基づく調査は、従来の有機性汚濁の指標である BOD だけでなく多様な視点で評価するため、「人と河川の豊かなふれあいの確保」、「豊かな生態系の確保」、「利用しやすい水質の確保」という 3 つの視点別に住民との協働による調査を実施しています。

- 『人と河川の豊かなふれあいの確保（4 段階）』の視点においては、
 - A 「顔を川の水につけやすい」
 - B 「川の中に入って遊びやすい」
 - C 「川の中には入れないが、川に近づくことができる」
 - D 「川の水に魅力がなく、川に近づきにくい」の指標ランクを設定しており、B 「川の中に入って遊びやすい」の地点が多かった。
- 『豊かな生態系の確保（4 段階）』の視点においては、
 - A 「生物の生息・成育・繁殖環境として非常に良好」及び B 「生物の生息・成育・繁殖環境として良好」が多く

- 『利用しやすい水質の確保（3段階）』の視点においては、
A「より利用しやすい」の地点が多かった。

3. 平成29年度ダイオキシン類・内分泌かく乱物質の実態調査結果について

＜ダイオキシン類・内分泌かく乱物質の実態調査結果＞（P15）

- 平成29年度に実施したダイオキシン類の実態調査では、いずれの地点においても水質・底質の環境基準（水質：1pg-TEQ/l 底質：150pg-TEQ/g）を満足していた。
- 平成29年度に実施した内分泌かく乱物質の実態調査では、すべての地点で重点調査濃度を満足していた。

4. 水質事故等の発生状況について

＜水質事故等の発生状況＞（P17）

- 平成29年に近畿地方整備局管内で発生した水質事故は42件。水系別では淀川水系の発生件数が20件で最多。事故の種類別では油類によるものが多く、原因別では原因不明が45%をしめる。なお、平成18年をピーク（169件）に、近畿全体の事故発生件数は減少傾向にある。

【補足】平成28年の発生件数は、50件

近畿版の公表資料については、下記を参照してください。
(近畿地方整備局 河川部HPに掲載)

<http://www.kkr.mlit.go.jp/river/kankyousuisitu.html>

全国版については、国土交通省 本省HPを参照してください。

http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyousuisitu/h29_suisitu.html

平成 29 年

近畿管内 一級河川の水質現況

Recent condition of water quality of class A river in Kinki

2017

特集

猪名川の水ってどうなん？

～ 水環境広報の取り組み～
～ ぱり きれいになったで～

コラム

その 1

STOP! 水質事故

水質事故防止に向けた地域の取り組み

水質調査結果

感覚的な水質指標による調査結果

ダイオキシン類等の実態調査結果

その 2

地域の皆様に愛されて 25 周年！

～水のめぐみ館アクア琵琶～

水質事故の状況

平成 29 年近畿管内一級河川の水質現況

CONTENTS

特集

猪名川の水ってどうなん？ ……………	01
～水環境広報の取り組み～	
～ばり きれいになったで～ ～	
平成 29 年水質調査結果 ……………	04
主要河川の地点別年平均水質 ……………	05
過去からの水質改善状況 ……………	06
生活環境の保全に関する環境基準の満足状況 ……………	07

コラム | その 1

STOP! 水質事故 水質事故防止に向けた地域の取り組み・08

平成 29 年感覚的な水質指標による調査結果 ……………	10
感覚的な水質指標について ……………	11
感覚的な水質指標に基づく調査結果 ……………	13
平成 29 年ダイオキシン類・内分泌かく乱物質の実態調査結果 ……	14
ダイオキシン類・内分泌かく乱物質実態調査結果 ……………	15
水質事故等の発生状況 ……………	16
水質事故等の発生状況 ……………	17

コラム | その 2

地域の皆様に愛されて 25 周年！ …………… 19

～水のめぐみ館アクア琵琶～

用語の解説	
……………	20

猪名川の水って どうなん？

～ 水環境広報の取り組み～
～ ぱり きれいになったで～ ～



市街地を流れる猪名川及び藻川

猪名川の水ってどうなん？

～水環境広報の取り組み～

神崎川水質汚濁対策連絡協議会猪名川分科会の夏のイベント 猪名川水環境交流会『いながわ体験フェスタ』

猪名川水環境交流会『いながわ体験フェスタ』は、猪名川分科会の行事で、猪名川の水環境に関する広報と活動団体の交流を目的に行ってきました。10年前からシンポジウム形式で進めてきましたが、一昨年度から現在の『いながわ体験フェスタ』として実施してきました。

工作・実験・生き物展示の体験ブース、子供達の発表、環境パネル展示を軸にしたイベントです。昨年度から夏休みの宿題に追い込みをかけている小学生にも来てもらえるように配慮しています。



会場の様子



体験ブース

■出展された体験ブース

出展内容(ブース名、発表タイトル等)	出展者
体験ブース(10ブース)	
環境に優しいアクリルたわし作り体験	大阪府
河川内の伐採木を利用したコースター作り体験	川西市
水に溶ける紙と溶けないティッシュペーパーの実験 原田下水処理場の動画	猪名川流域下水道事務所
猪名川の魚や生き物の展示	猪名川漁業協同組合 水資源機構一庫ダム管理所 刀根山高校生物部
漁法・漁具紹介	猪名川漁業協同組合
投網体験	
猪名川自然林からのおくりもので作ってみよう	自然と文化の森協会
外来種を知っていますか？	流域ネット猪名川
水質調査体験パックテスト	猪名川河川事務所
航空写真から自宅を探そう	

幼い子から小学生まで
学べたので良かった。

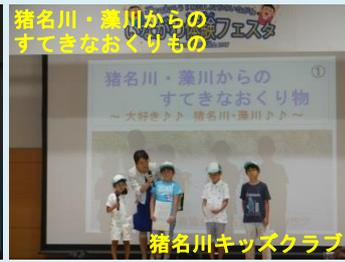
様々なブースで丁寧に
優しく教えて貰って、
親も楽しめました。

今の現状の猪名川のこ
とを知れたのでとても
良かったです。



■体験ブースの出展の様子

研究発表



パネル展示



実施結果：発表2団体、工作等体験ブース10、パネル展示（分科会広報、野鳥）という内容で実施しました。平日にも関わらず250人をこえる方々がきてくださり、盛大に行うことができました。

アンケート結果：おもしろかった90%、水環境のことが分かった69%、水環境に興味を持った61%という結果を頂きました。

ひとこと：平成30年度は、8月25日（土）を予定しています。詳細は決定次第、猪名川河川事務所のHPに掲載します。是非お越しください。

猪名川河川事務所 HPはこちら！
<http://www.kkr.mlitt.go.jp/inagawa/>

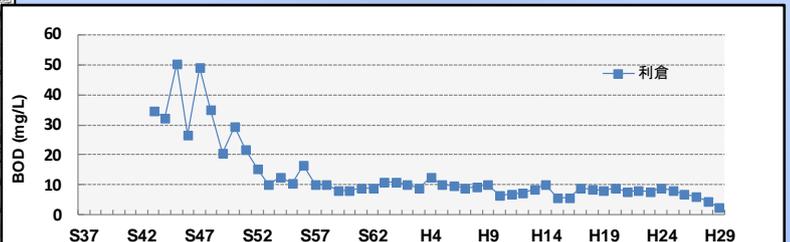


～ばり **きれい** になったで～ ～ 利倉地点の水質

猪名川の利倉地点は、長年にわたって水質が非常に悪い状態が続いていました。そんな利倉地点の水質に近年大きな変化が？！過去からの利倉地点の水質を見てみると、BODは年平均値で昭和40年代に約50mg/Lだったこともあり、昭和50年代に入ると概ね8～10mg/L前後で推移してきました。このBODが平成25年から減少に転じたのです。これは利倉地点直上流にある猪名川流域下水道原田処理場で、高度処理施設の導入がなされたこと、猪名川河川事務所による猪名川体験フェスタや出前講座等の様々な活動を通じた一般住民の水環境への関心の喚起、啓発・啓蒙もあり、BOD改善につながっています。この結果、平成19年に年平均値8.2mg/Lだったものが平成29年は2.4mg/Lとなっています。



■猪名川の水質調査地点のBOD年平均値の推移



■利倉地点のBOD経年変化（年平均値、出典：水文水質データベース）

平成 29 年水質調査結果

大都市圏を抱える近畿地方では、“水都大阪”を目指す取り組みをはじめとし、河川環境を保全する取り組み・河川美化の取り組みなど、地域毎の市民・企業・大学・行政が連携した取り組みが行われています。

長年にわたる取り組みの成果を受け、平成 29 年は近畿地方の一級河川（直轄管理区間）において約 9 割の地点において環境基準値を満足する結果となっています。

河川の水質は、各河川によって状況は異なりますが、生活排水・工場排水・農業排水・自然由来のものなど複数の汚染源があり、汚濁量と河川の流況（流域で降る雨の量、川に流れる水の量）により水質は変わってきます。

現在の一級河川の水質は、これまでの排水規制、下水道整備、河川浄化施設等の推進、地域毎の水質改善に関する取り組みによる結果がでているものと考えられます。

一方、都市域を流下する一部の下流調査地点、ダム・湖沼の調査地点等においては、環境基準を満足していない状況にあります。

改善に向けた流域での取り組みに反し、水質が改善しない原因について、各調査地点の水質状況を十分に把握し、効率的・効果的な対策を実施していくことが求められています。

主要河川の地点別年平均水質

平成 29 年水質調査結果

各地点の BOD 年平均値で見ると、熊野大橋（熊野川）、熊野川河口（熊野川）が近畿で最も良好な水質（BOD 0.5mg/ℓ）であった。

平成 29 年の近畿地方 17 河川の地点別年平均値

水系名	河川名	調査地点		各地点のBOD年平均値 (mg/ℓ)
		地点数	府県名	
新宮川	くまのがわ 熊野川	2	和歌山	熊野大橋 0.5 熊野川河口 0.5
紀の川	きのかわ 紀の川	9	奈良・和歌山	大川橋 0.7 御蔵橋 0.7 恋野橋 0.7 岸上橋 1.1 三谷橋 0.9 藤崎井堰 0.7 船戸 0.8 新六ヶ井堰 1.7 紀の川大橋 1.6
大和川	やまのがわ 大和川	8	奈良・大阪	上吐田 2.9 太子橋 3.2 御幸大橋 2.7 藤井 2.9 国豊橋 2.4 河内橋 2.1 浅香新取水口 2.0 遠里小野橋 2.0
淀川	よどがわ 淀川	10	滋賀・京都・ 大阪	洗堰下 1.2 宇治橋 0.8 隠元橋 0.9 観月橋 0.8 宇治川大橋 0.9 宇治川御幸橋 1.2 枚方大橋 1.0 鳥飼大橋 0.9 菅原城北大橋 1.0 伝法大橋 2.3
淀川	やすがわ 野洲川	2	滋賀	石部 0.8 服部 0.7
淀川	かつらがわ 桂川	5	京都	渡月橋 0.6 西大橋 0.6 久世橋 0.6 羽束師橋 0.7 宮前橋 0.9
淀川	うだがわ 宇陀川	4	三重・奈良	安部田 0.7 高倉橋 0.8 辻堂橋 0.7 室生路橋 0.7
淀川	なばりがわ 名張川	4	三重・京都	新夏見橋 0.8 名張 0.8 家野橋 0.9 高山ダム下流 0.8
淀川	きづがわ 木津川	8	三重・京都	大野木橋 1.0 長田橋 1.0 岩倉橋 1.0 島ヶ原大橋 1.1 笹瀬橋 1.2 加茂恭仁大橋 0.9 玉水橋 0.8 木津川御幸橋 0.9
淀川	いながわ 猪名川	4	大阪・兵庫	呉服橋 0.6 軍行橋 0.7 猪名川橋 0.7 利倉 2.4
加古川	かこがわ 加古川	4	兵庫	大住橋 0.9 国包 1.1 池尻 1.1 相生橋 0.9
揖保川	いぼがわ 揖保川	6	兵庫	曲里 0.6 山崎 0.6 嘴崎橋 0.6 龍野 0.6 上川原 0.7 本町橋 0.6
円山川	まるやまがわ 円山川	4	兵庫	府市場 0.6 立野 0.7 結和橋 1.6 港大橋 1.1
由良川	ゆらがわ 由良川	5	京都	音無瀬橋 0.7 笹巻橋 0.6 波美橋 0.7 由良川橋 0.7 以久田橋 0.7
北川	きたがわ 北川	3	福井	上中橋 0.6 高塚 0.6 西津橋 0.7
九頭竜川	くずりゅうがわ 九頭竜川	4	福井	中角 0.6 布施田 0.8 高屋橋 0.6 九頭竜川河口 0.7
九頭竜川	ひのがわ 日野川	2	福井	深谷 1.1 日光橋 0.9

※主要河川とは直轄管理区間延長が概ね 10km 以上、かつ水質調査地点が 2 地点以上ある河川

過去からの水質改善状況

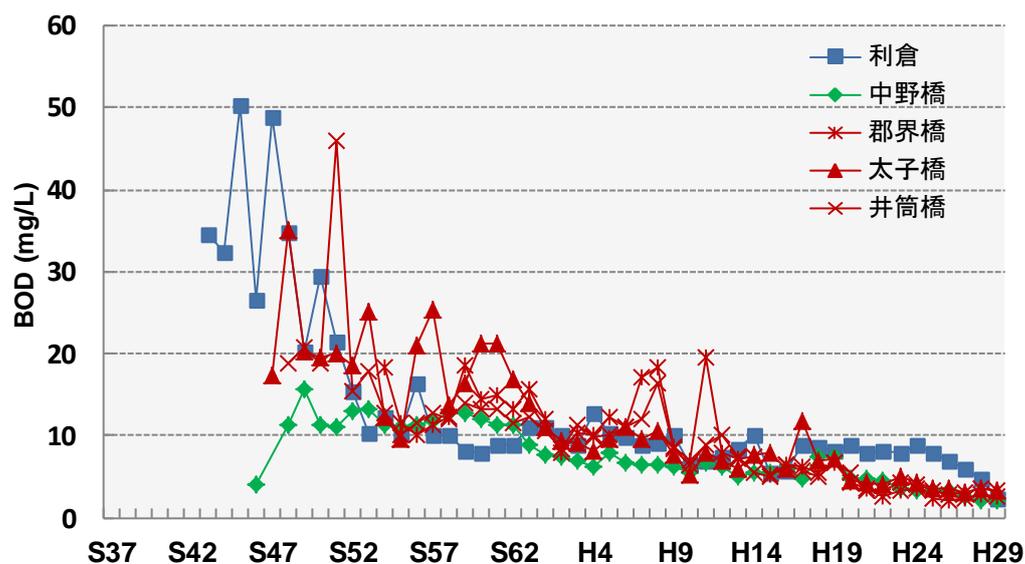
平成 29 年水質調査結果

猪名川と大和川では、過去の悪かった水質から大幅に改善されている。

10 年前（平成 19 年）の地点毎の BOD 年平均値から、水質改善幅による河川の水質改善状況を比較した。特に、猪名川、大和川の各地点については、下水道の普及や水質改善の取り組みにより、水質が大幅に改善している。

過去からの河川水質改善状況

水系名	河川名	地点名	①平成19年 BOD 平均値 (mg/l)	②平成29年 BOD 平均値 (mg/l)	①と②比較 水質改善幅 (mg/l)
猪名川	猪名川	利倉	8.2	2.4	5.8
淀川	山科川	中野橋	7.4	2.1	5.3
大和川	佐保川	郡界橋	6.7	2.5	4.2
大和川	大和川	太子橋	7.1	3.2	3.9
大和川	佐保川	井筒橋	6.6	3.3	3.3



出典：水文水質データベース

過去からの河川水質改善状況

生活環境の保全に関する環境基準の満足状況

平成 29 年水質調査結果

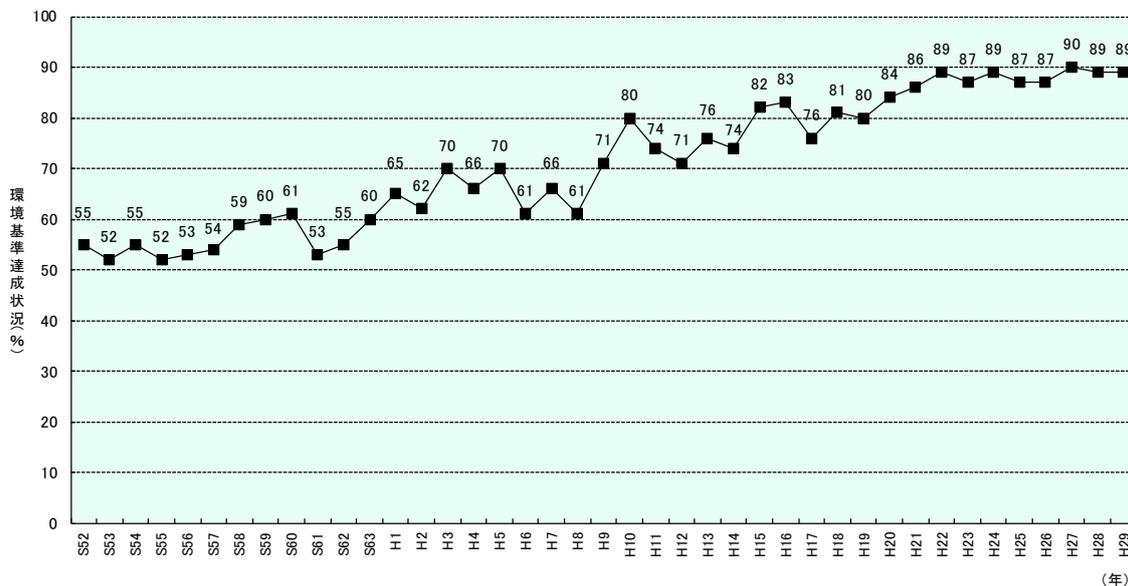
平成 29 年は、近畿地方一級河川で環境基準のうち主要な指標である BOD（または COD）の基準を満足している地点の割合は、平成 28 年と同じ 89%であった。

近年 10 カ年（平成 19 年～平成 28 年）の平均の 87%より、2 ポイント高かった。

（注：環境基準の達成状況は 75%値で評価）

一級河川（湖沼を含む）において、生活環境の保全に関する環境基準項目のうち BOD（生物化学的酸素要求量）または COD（化学的酸素要求量）の環境基準を満足している地点の割合の経年変化をみると、平成 29 年は 89%の 102 地点において環境基準を満足している（環境基準の類型が指定されている 115 調査地点での調査結果）。

- 河川類型指定地点において、環境基準を満足していなかったのは、103 地点のうち、紀の川水系紀の川（新六ヶ井堰 A 類型 BOD2.0mg/ℓ以下、大滝ダム湖ダムサイト AA 類型 BOD1.0mg/ℓ 以下）の 2 地点である。湖沼類型指定地点においては、環境基準地点 12 地点のうち、新宮川水系熊野川（猿谷ダム湖）を除いた 11 地点で環境基準を満足していなかった。
- 平成 28 年に環境基準を満足した地点で、平成 29 年に満足しなかった地点は、河川類型指定地点の紀の川水系紀の川（新六ヶ井堰）（1.8mg/ℓ→2.6mg/ℓ）の 1 地点であった。
- 平成 28 年に環境基準を満足しなかった地点で、平成 29 年に満足した地点は九頭竜川水系九頭竜川（九頭竜ダム湖）（1.1mg/ℓ→1.0mg/ℓ）の 1 地点であった。



（平成 29 年：河川類型指定 103 地点、湖沼類型指定（環境基準地点）12 地点の合計 115 地点）
（河川類型指定地点は BOD75%値、湖沼類型指定地点は COD75%値での評価）

STOP! 水質事故 -水質事故防止に向けた取組み-

水質事故とは、油類・有害物質・化学物質等の流出、薬品・塗料等による濁水、魚のへい死等が発生する状態のことを指します。

事故の規模や原因物質によっては、河川にすむ魚などたくさんの生き物に影響がでるほか、河川から水道用水の取水ができなくなるなど、社会生活や自然環境へ重大な影響を広範囲に及ぼします。

昭和 40 年代の高度経済成長期に淀川水系の水質事故は急激に増加し



■軽油流出事故



■泡流事故



■現場での吸着式オイルフェンス設置例

ましたが、昭和 45 年に水質汚濁防止法が制定されて排水基準が定められたことなどから減少に転じました。

また、平成元年以降に増加した排水機場を経由した油の流出事故も油水分離機の設置や自動車リサイクル法の施行で発生件数は減少しました。

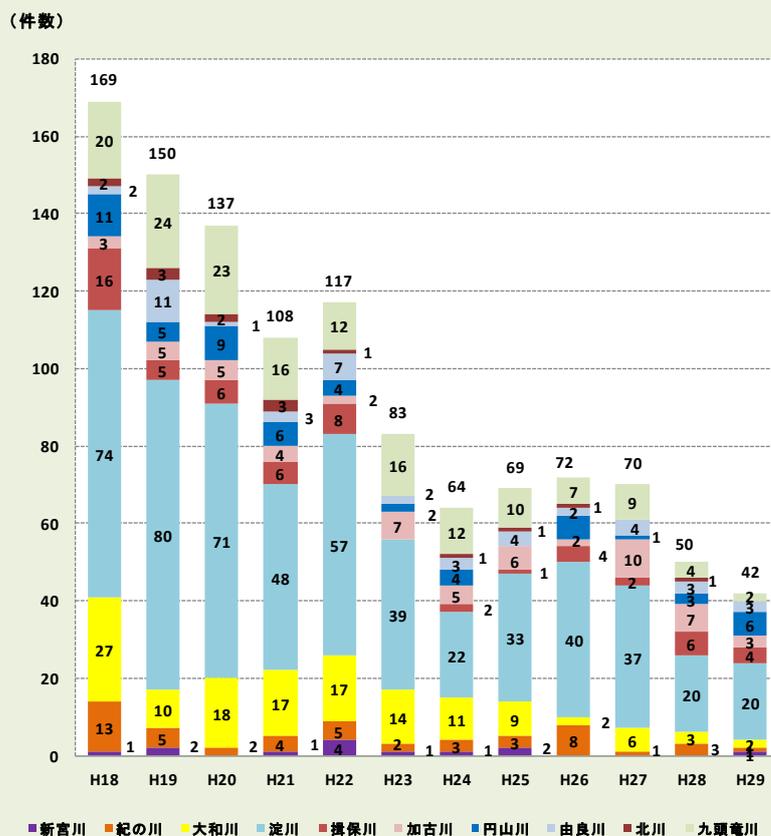
最近では排水機場経由でない油流出事故が増加しています。

近畿管内では、関係機関の取組により全体の事故報告件数は、平成 18 年の 169 件をピークに平成 24 年までは減少傾向にあり、それ以降は 70 件前後を保っています。

その中で最も水質事故の件数が多い淀川水系においては「淀川水質協議会」や「淀川水質汚濁防止連絡協議会」、等をはじめとした様々な団体が水質事故防止の取り組みを行っています。

特に、事故報告の約8割をしめる油流出や漏油事故については、拡散防止の初動対応が下流への被害を軽減するための重要な対策であることから、淀川流域の関係機関で組織する「淀川水質汚濁防止連絡協議会」及び「神崎川水質汚濁対策連絡協議会」が合同で、毎年水質事故対応講習会を開催しています。

講習会では、油事故の初動対応の重要性、拡散防止対策とは、オイルフェンスやオイルマットなど資機材の効果的な使用方法、河川内での使用が禁止されている油処理材の特性、現場作業者の安全管理など、担当者の認識を一致させることにより、円滑に事故対応ができるよう技術力の向上に努めています。



■平成18～29年の近畿管内水質事故確認件数の経年変化



■水質事故対応現地講習会の様子
(平成29年度水質事故対応現地講習会)

また、実際に現地において資機材を用いた拡散防止の講習を、現場担当者・作業者などを対象に開催し、円滑に初動対応が行えるよう努めています。

平成 29 年
感覚的な水質指標による
調査結果

感覚的な水質指標について

平成 29 年感覚的な水質指標による調査結果

河川を BOD だけでなく多様な視点で評価する感覚的な水質指標による調査を、平成 17 年から実施しています。このうち、住民による測定が可能な項目（水のおいしさや川底の感触、ゴミの量など）については住民との協働による調査も含め実施しました。

国土交通省では、河川水質管理において、住民や利水者の河川水質・河川環境に対して多様化するニーズに応えるため、『今後の河川水質管理の指標（新しい水質指標）について（案）』を平成 17 年 3 月に策定し、

- ①人と河川の豊かなふれあいの確保
- ②豊かな生態系の確保
- ③利用しやすい水質の確保
- ④下流域や滞留域への影響の少ない水質の確保

の 4 つの河川水質管理の視点別に指標のランクを設定しています。この指標は住民との協働による測定項目及び河川等管理者による測定項目からなり、河川を多様な視点で評価するよりわかりやすい調査手法で、平成 17 年より実施しています。

このなかで、水のおいしさや川底の感触、ゴミの量などについては、住民との協働による調査を実施しています。

①人と河川の豊かなふれあいの確保

住民との協働項目

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル※1				糞便性大腸菌群数 (個/100ml)
			ゴミの量	透視度 (cm) ※2	川底の感触 ※3	水のおいしさ	
A	顔を川の水につけやすい		川の中や水際にゴミは見あたらな いまたは、ゴミは あるが全く気にな らない	100 以上 ※2	不快感がな い	不快でない	100 以下
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際に ゴミは目につく が、我慢できる	70 以上	ところどころヌ ルヌルしてい るが、不快で ない		1000 以下
C	川の中には入れないが、川に近づくことができる		川の中や水際に ゴミがあつて不快 である	30 以上	ヌルヌルして おり不快であ る	1000 を超 えるもの	水に鼻を近づけて不 快な臭いを感じる 風下の水際に立つと 不快な臭いを感じる
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際に ゴミがあつてとて も不快である	30 未満			風下の水際に立つ と、とても不快な臭い を感じる

※1 評価レベルについては、河川の状況や住民の感じ方によって異なるため、住民による感覚調査等を実施し、設定することが望ましい。

※2 実際には 100cm を超える水質レベルを設定すべきであり、今後の測定方法の開発が望まれる。

※3 川底の感触とは、河床の礫に付着した有機物や藻類によるヌルヌル感を対象とする。そのため、川底の感触は、ダム貯水池、湖沼、堰の湛水域には適用しない。

②豊かな生態系の確保

住民との協働項目

ランク	説明	評価項目と評価レベル		
		DO(mg/ℓ)	NH ₄ -N(mg/ℓ)	水生生物の生息 ^{※1}
A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7 以上	0.2 以下	I. きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ等
B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5 以上	0.5 以下	II. 少しきかない水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ等
C	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	3 以上	2.0 以下	III. きかない水 ・ミズムシ ・ミズカマキリ等
D	生物が生息・生育・繁殖しにくい	3 未満	2.0 を超えるもの	IV. 大変きかない水 ・セスジユスリカ ・チョウバエ等

※1 水生生物の生息は流れのある瀬で調査を実施する。そのため、水生生物の生息はダム貯水池、湖沼、堰の湛水域には適用しない。

③利用しやすい水質の確保

ランク	説明	評価項目と評価レベル			
		安全性	快適性	維持管理性	維持管理性
		トリハロメタン生成能(μg/ℓ)	2-MIB (ng/ℓ)	ジオスミン (ng/ℓ)	NH ₄ -N(mg/ℓ)
A	より利用しやすい	100 以下	5 以下	10 以下	0.1 以下
B	利用しやすい		20 以下	20 以下	0.3 以下
C	利用するためには高度な処理が必要	100 を超えるもの	20 を超えるもの	20 を超えるもの	0.3 を超えるもの

※『下流域や滞留域への影響の少ない水質の確保』の指標については、一般的に滞留水域の水質と滞留水域に流入する河川の水質は異なり、現状の知見では下流域に影響を与える河川水質濃度を評価することは困難であることから、評価項目が設定されておらず、ここでも特に記載していません。

感覚的な水質指標に基づく調査結果

平成 29 年感覚的な水質指標による調査結果

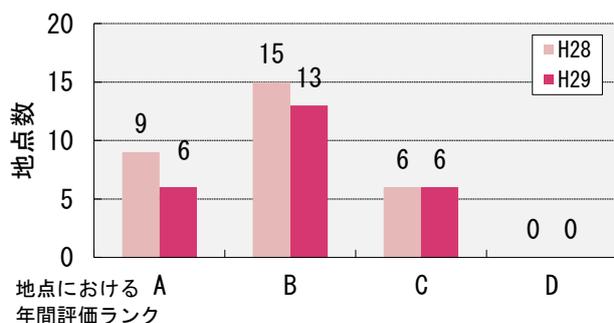
『人と河川の豊かなふれあいの確保（4 段階）』の視点においては B ランクの地点が多く、『豊かな生態系の確保（4 段階）』の視点においては A ランクもしくは B ランク、『利用しやすい水質の確保（3 段階）』の視点においては A ランクであった。

感覚的な水質指標に基づく調査について、平成 29 年は 7 水系で実施しており、調査地点を 38 地点とし、このうち 25 地点で住民との協働により調査を実施した。

調査の結果、『人と河川の豊かなふれあいの確保』の視点からは、平成 28 年と同様に平成 29 年も B ランク（川の中に入って遊びやすい）と評価された地点が最も多かった。

『豊かな生態系の確保』の視点からは、平成 28 年よりも A ランクが減少し平成 29 年は A ランク（生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好）及び B ランク（生物の生息・生育・繁殖環境として良好）と評価された地点が最も多かった。

『利用しやすい水質の確保』の視点からは、平成 28 年と同様に平成 29 年も A ランク（より利用しやすい）と評価された地点が最も多くなった。

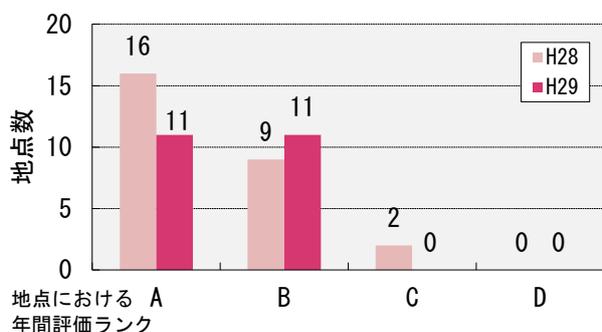


調査地点数	
H28	30 (30)
H29	25 (25)

() は住民との協働による調査地点数

- A：顔を川の水につけやすい
- B：川の中に入って遊びやすい
- C：川の中には入れないが、川に近づくことができる
- D：川の水に魅力がなく、川に近づきにくい

『人と河川の豊かなふれあいの確保』の視点のランク別地点数

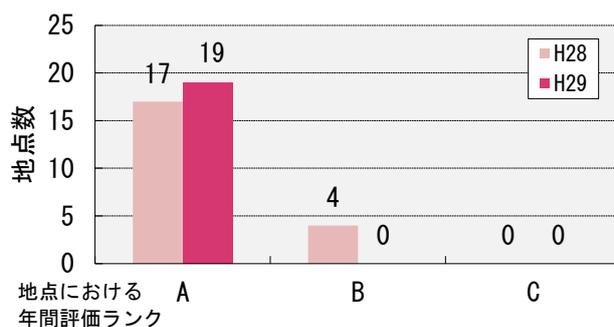


調査地点数	
H28	27 (26)
H29	22 (21)

() は住民との協働による調査地点数

- A：生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好
- B：生物の生息・生育・繁殖環境として良好
- C：生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない
- D：生物が生息・生育・繁殖しにくい

『豊かな生態系の確保』の視点のランク別地点数



調査地点数	
H28	21
H29	19

- A：より利用しやすい
- B：利用しやすい
- C：利用するためには高度な処理が必要

『利用しやすい水質の確保』の視点のランク別地点数

平成 29 年度
ダイオキシン類・内分泌
かく乱物質の実態調査結果

ダイオキシン類・内分泌かく乱物質実態調査結果

平成 29 年度ダイオキシン類・内分泌かく乱物質の実態調査結果

平成 29 年度に実施したダイオキシン類の実態調査では、いずれの地点においても水質・底質の環境基準（水質：1pg-TEQ/l 底質：150pg-TEQ/g）を満足していた。

ダイオキシン類（※1）については、平成 11 年度から管内 10 水系 54 地点において継続的に水質と底質の調査を実施しており、そのうち平成 29 年度は 10 水系 26 地点において調査を実施した。

水質・底質ともに、年間の評価値では全地点で環境基準を満足した。調査結果の概要を表-3. 1 に示す。

検体ごとの調査結果では、大和川の 1 地点（藤井）の水質調査において要監視濃度（※2）を超過する値が検出された。過去の調査において要監視濃度を超過した地点は、重点監視状態にある地点（重点監視地点）として重点的に調査を実施している。平成 29 年度当初時点で重点監視地点は水質に対しては 3 地点（大和川：藤井、遠里小野橋、河口部）である。

※1… ダイオキシン類対策特別措置法に定義される『ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン』『ポリ塩化ジベンゾフラン』『ダイオキシン様塩化ビフェニル』の 3 種の化合物群。非意図的に生成され、毒性が非常に強く、残留性が高い物質。

※2… 国土交通省が重点的に監視する際の目安として定めている濃度で、環境基準値の 1/2。要監視濃度を超過した地点については、その後の調査で 8 回連続して要監視濃度を下回るまで、重点監視地点として年 4 回の調査（通常の調査地点は年 1 回）を実施する。

表-3.1 調査結果の概要（年間の評価値）

	調査地点数	要監視濃度を超過した地点数	環境基準値を超過した地点数
水質	25 地点	1 地点	0 地点
底質	26 地点	0 地点	0 地点

平成 29 年度に実施した内分泌かく乱物質の実態調査では、すべての地点で重点調査濃度を満足していた。

内分泌かく乱物質（※1）については、平成 10 年度（一部項目については平成 12 年度）より管内 10 水系 18 地点のうち毎年 3 地点を調査しており、平成 29 年度は琵琶湖北湖（安曇川沖中央）、瀬田川（唐橋流心）、猪名川（軍行橋）の調査を実施した。平成 29 年度調査で重点調査濃度（※2）を超過した地点はなかった。各項目の調査結果の概要を表-3. 3 に示す。

※1… 内分泌系に影響を及ぼすことにより、生体に障害や有害な影響を引き起こす外因性の化学物質。

※2… 国土交通省が重点的に調査を実施する際の目安として物質ごとに定めた濃度。各項目によってその濃度は異なり、定めていない項目もある。重点調査濃度を超過した項目については、年 1 回の調査を継続的に実施する。重点調査濃度を 3 年連続して下回った場合は、重点調査地点を解除し、一般調査地点として 6 年に 1 回監視を行う。

水質事故等の発生状況

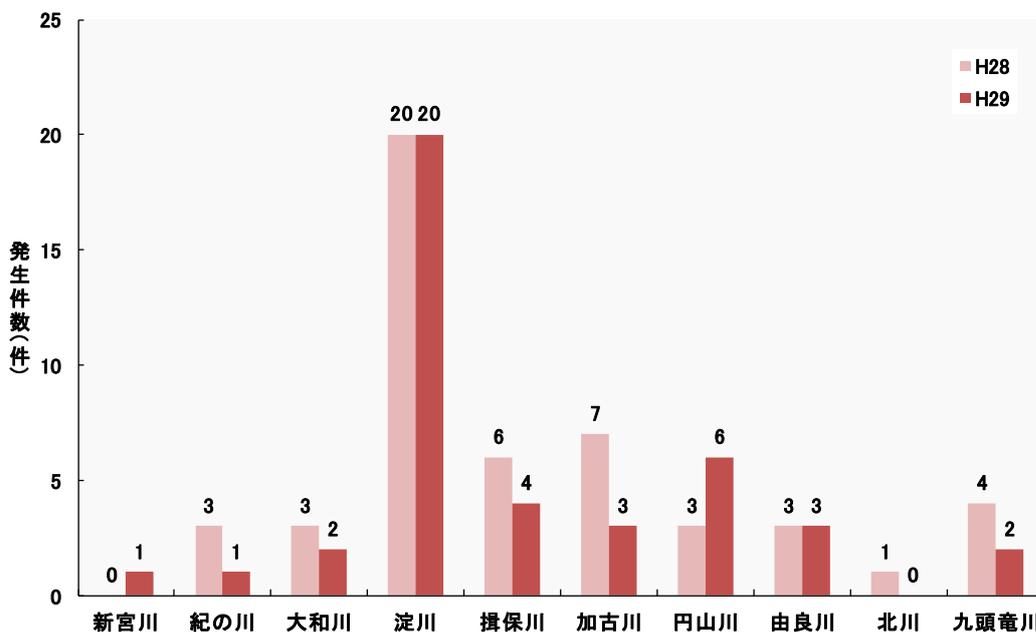
水質事故等の発生状況

水質事故等の発生状況

平成 29 年に近畿地方整備局管内で確認された水質事故等は 42 件。

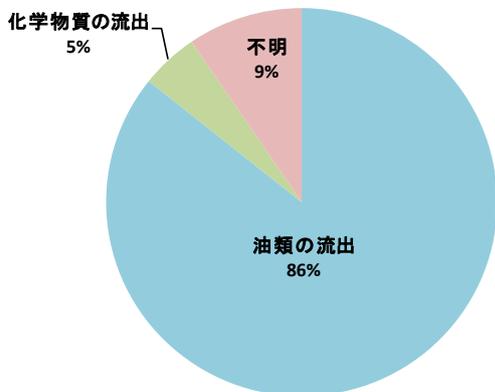
平成 29 年の確認件数は 42 件であった。

水系別では淀川水系の確認件数が 20 件で最多であり、事故の種類別では油類によるものが多く、原因別では工場等での操作ミスが多い。また、近畿全体の事故確認件数は、平成 18 年をピークに平成 24 年までは概ね減少傾向にあり、それ以降は大きな変化はない。

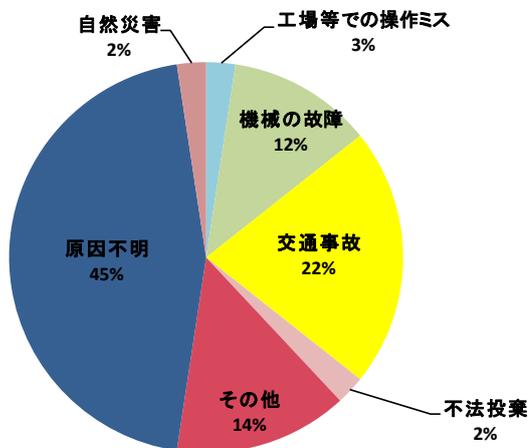


水系別水質事故確認件数

平成 29 年『種類』別割合



平成 29 年『原因』別割合



平成 29 年事故「種類」「原因」別割合

水質異常を見かけたら迷わずすぐ

- 最寄りの警察・消防・自治体・河川管理者に連絡をお願いします!! -

水質異常ってどんな状態？

- 油が浮いている
- 水の色がいつもと違う
- 泡が浮いている
- 死んだ魚が浮いている
- 変な臭いがする

川に油が流れている



水質異常で川はどうなる？

- 川が汚れる
- 生き物がすめない
- 水道水が飲めなくなる

川に魚が死んでいる



川に車が転落している



川が黒く濁っている



地域の皆様に愛されて 25 周年！

～水のめぐみ館アクア琵琶～

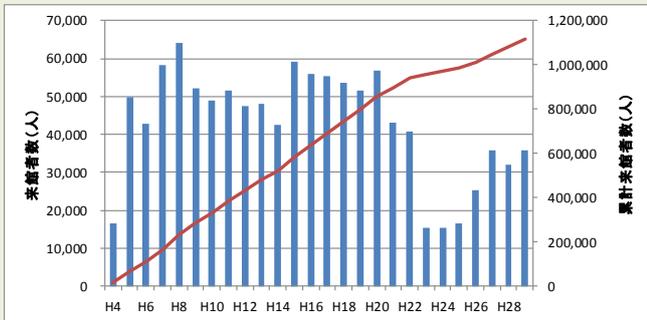


琵琶湖河川事務所が管理する「水のめぐみ館アクア琵琶」は、琵琶湖の治水や利水、水環境などについて学べる施設となっていて入館は無料。年間約3万人の来館があります。

「水のめぐみ館アクア琵琶」は昨年11月7日に開館25周年を迎えました。通算の来館者数も9月には110万人を突破し、12月には25周年記念イベントも実施して盛況でした。



■水のめぐみ館アクア琵琶の全景



■アクア琵琶のこれまでの来館者数の推移



■水のめぐみ館アクア琵琶が25周年を迎えました！

25周年イベントの様子 (平成29年12月3日)



■普段は見られない洗堰ツアー



■演奏会も盛り上がりました！



■〇×クイズも盛況



■アクア琵琶、今と昔

アクア琵琶ってどんなところ？

アクア琵琶にはさまざまな教材があります。瀬田川洗堰に関する模型、さまざまな映像、ゲーム感覚で楽しく学べるクイズなど、多彩で楽しい体験学習を通して、来館のみなさまが河川への関心を楽しみ育むことを支援しています。



■最大時間雨量600mmまで体験できる雨たいけん室



■タッチパネルでゲーム (琵琶湖のお魚ずかん)



アクセスしてね

<http://www.kkr.mlit.go.jp/biwako/aquabiwa/>

用語の解説

BOD（生物化学的酸素要求量）

川の汚れの程度を測る代表的な尺度である。水中の汚れ（有機物）は、微生物により分解されるが、その時に消費する酸素の量を BOD と言い、BOD の値が大きければ水が汚れていることを表す。

COD（化学的酸素要求量）

水中の有機物質などが過マンガン酸カリウムによって化学的に酸化・分解される際に消費される酸素量のことで、数値が大きくなるほど汚濁していることを示す。湖沼や海域の水質汚濁の一般指標として用いられる。

75%水質値（BOD、COD）

年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ $0.75 \times n$ 番目（ n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって 75% 値とする。（ $0.75 \times n$ が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。）

例えば、毎月 1 回測定していた場合、水質の好い方から数えて $12 \times 0.75 = 9$ 番目の値で評価する。

環境基準

人の健康の保護及び生活環境の保全のために維持されることが望ましい基準として決められた目標値。人の健康の保護に関しては全国共通の基準値であるが、生活環境の保全に関しては地域ごとに基準値が定められている。

類型

環境基本法に川の水質に関する基準値が定められており、河川水の利用目的に応じて、達成すべき値や維持していくための目標値がある。生活環境項目の環境基準は、全国一律の値ではなく、類型別に基準値が定められている。河川等の状況や利用状況を考慮して、地域ごとに類型を指定する。

河川における類型ごとの環境基準値（BOD75%値）

AA 類型：1mg/ℓ、A 類型：2mg/ℓ、B 類型：3mg/ℓ、C 類型：5mg/ℓ、D 類型：8mg/ℓ、E 類型：10mg/ℓ 湖沼における類型ごとの環境基準値（COD75%値）

AA 類型：1mg/ℓ、A 類型：3mg/ℓ、B 類型：5mg/ℓ、C 類型：8mg/ℓ

糞便性大腸菌群数

大腸菌群のうち 44.5℃ という高温でも生育する細菌群であり、大腸菌以外の細菌も含まれる。糞便性大腸菌群が多く検出されるということは、糞便汚染を受けた可能性が高く、赤痢菌、サルモネラ菌などの病原菌に感染しているリスクが高いことを示す。このため、環境省では水浴場水質の判定基準に用いている。

DO（溶存酸素）

水中に溶けている酸素量のことで、溶解量は水温、気圧、塩分、汚れの程度により変化する。汚染度の高い水中では、自浄作用により消費される酸素量が多いので溶存酸素量は少なくなる。きれいな水ほど酸素は多く含まれる。

NH₄-N (アンモニア態窒素)

水中にアンモニウム塩として含まれている窒素のことで、主としてし尿や家庭下水中の有機物の分解や工場排水に起因するもので、水質汚染の指標となる。

トリハロメタン生成能

下水処理場やし尿処理場の排水や水中に含まれているフミン質（有機態窒素化合物）や親水性酸などと消毒剤として用いられている塩素が反応して生じる消毒副生成物である。トリハロメタンは発ガン性が確認されたことによって、水質基準が決められた初めての有害化学物質である。

2-MIB, ジオスミン

かび臭の原因物質。

ダイオキシン類

ダイオキシン類対策特別措置法に定義される『ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン(PCDD)』『ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)』『コプラナーポリ塩化ビフェニル(Co-PCB)』の3種の化合物群。非意図的に生成され、毒性が非常に強く、残留性が高い物質。

内分泌かく乱物質

動物の生体内に取り込まれた場合に、本来、その生体内で営まれている正常なホルモン作用に影響を与える外因性の物質。ホルモンに似た作用をする物質の総称で、環境ホルモンとも言われている。内分泌攪乱作用（体内で本来のホルモンの働きを攪乱する作用）を持ち、メス化やがん化などの毒性がある。

4-*t*-オクチルフェノール

フェノール樹脂や界面活性剤などの原料として使用されている。魚類の女性ホルモン受容体との強い結合性をもつなど、内分泌攪乱作用が確認された。

ノニルフェノール

工業用洗剤などに使用されるアルキルフェノールポリエトキシレートの原料や、塩化ビニルの酸化防止剤等に用いられ、プラスチック製品から溶出する。女性ホルモンと似た作用を持つ。ノニルフェノールの作用による魚類の雌化が確認されている。

ビスフェノールA

プラスチックや接着剤の原料として広く使われている。女性ホルモンと似た作用を持つ。

エストロン

女性ホルモンの一種。卵巣中で生産され、排泄物の形で排出されるので、下水を経由して河川中にも放流されている可能性がある。

17β-エストラジオール

女性ホルモンの一種。女性ホルモンの中でも作用が非常に強い物質である。排泄物に多く含まれており、下水を経由して河川中にも放流されている可能性がある。

o, p-DDT

農薬の一つで、戦後、害虫駆除のため広く使用されたが、現在では使用が禁止されている。発ガン性があり、残留性も強い。

平成 29 年 近畿地方一級河川の水質現況 概要パンフレット
Recent condition of water quality of class A river in Kinki

<http://www.kkr.mlit.go.jp/>



国土交通省 近畿地方整備局

〒540-8586

大阪府中央区大手前 1-5-44 大阪合同庁舎 1 号館

Tel. 06-6942-1141 (代表)